

春季の沖縄の野鳥

藤 波 不二雄¹

埼玉県支部では、1982年3月18日より22日まで、沖縄探鳥ツアーを行った。その結果、沖縄本島、石垣島、西表島で合計101種の鳥を観察できた。そのなかから興味深い鳥について報告する。

ズグロミゾゴイ：3月20日、西表島祖内にて6:00 pm頃、タブやアダンの茂った林より灰色味の強い1羽が飛び出した。同日6:30 pm頃、星立にて林に囲まれた路上に立つ成鳥1羽を観察。この個体は翼をたたんでいる時も飛翔時も初列風切先端や小翼羽にみられる白点を欠いていたが、頭頂は紺黒色であった。同日10:00 pm頃祖内集落の2か所ではほぼ同時に、ボワ、ボワ、ボワという声で鳴きだした。21日には7:00 am頃、星立の同じ場所で成鳥1羽を観察した。

カラシラサギ：3月19日、石垣島の網張で、ダイサギ、コサギとともに行動する1羽を観察した。くちばしはうすい黄色で、冠羽があった。

ムラサキサギ：3月20日、西表島の船浦～星立の間で成鳥2羽、幼鳥2羽を観察した。1羽の成鳥は、水田のなかで大きなカメを捕え、大口をあけて苦勞しながらのみこんだ。

コウノトリ：3月21日、小浜島の海岸のマングローブの湿地にて2羽を観察した。

カンムリワシ：3月20、21日、西表島で飛翔中の6個体を観察した。

ツルクイナ：3月20日、西表島の祖内付近の水田で山側の畔を歩く夏羽の雄を観察した。

カラアカハラ：3月21日、西表島の中野のバイナッブル滓捨て場で、採食中の雌雄を観察した。雄は上面全体が灰色で濃淡はほとんど感じられなかった。下面は下がく部が一部白色で脇腹に狐色が認められた。明るい光線のもとでは、全身灰白色に見えた。雌は雄同様上面は灰色であるが、わずかに褐色味が感じられた。喉から胸にかけては細い黒褐色の縦斑があり、脇の狐色が顕著であった。周囲にいたシロハラ、アカハラ、ハチジョウツグミと比較して、背面は明らかに淡色であった。

キマムシクイ：3月21日、西表島祖内の民家のセンダンの枝に1羽、2本の太く白い翼帯とうす黄色の眉斑が顕著であった。

最後に、探鳥中にお世話になった八重山野鳥の会の方々に厚くお礼申し上げる。

1982年9月1日受理

1. 〒334 鳩ヶ谷市桜町6-12-36. 埼玉県支部

Birdwatching in Okinawa, Spring 1982

Fujio Fujinami

Observed were 101 species of birds on Okinawa, Ishigaki, and Iriomote Islands during the birdwatching trip from March 18 to 22, 1982. Among these birds, some note-worthy species were as follows: Chinese Egret (Egretta europotes), Purple Heron (Ardea purpurea), White Stork (Ciconia ciconia) Crested Serpent-Eagle (Splornis cheela), Watercock (Gallicrex cinerea), Gray-backed Thrush (Turdus hortulorum), Yellow-browed Warbler (Phylloscopus inornatus).

6-12-36 Sakura-cho, Hatogaya-shi 334